

行ける行けない表を用いた 広域バス系統の機能整理 ワークショップの進め方

別紙1で使用するファイル(ワークシート用データ)

- ワークシートⅠ_重要施設の選定.xlsx
- ワークシートⅡ_行ける行けない表.xlsx
- ワークシートⅢ_対象系統のアクセス性評価、機能整理とまとめ.xlsx

①参加者について

- 可能な限り広域バス系統の**関係者全員に参加してもらう**
 - 都道府県、沿線自治体、運行事業者**
- ワークショップ開始前に議論の進行とまとめ役として**ファシリテーター**を決める
 - 実際の議論を想定して、都道府県や沿線自治体の代表者をファシリテーター**にすることが望ましい

②ワークショップの事前準備

- 1つのテーブルで関係者全員が座れるように座席を配置する**
- 以下のものを印刷して用意する**
 - ワークシートⅠ、Ⅱ、Ⅲ
 - ・ワークシートⅠ、ワークシートⅡは**沿線自治体**や**運行事業者**が個別に作業できるように人数分を用意する
 - ・ワークシートⅠ、ワークシートⅢは**ファシリテーター**がまとめる用に使うため、A0サイズ等のものを用意する
 - 対象系統の系統図と、周辺の施設をプロットした図**を用意(※)
 - 周辺の施設は、病院・買い物施設・学校・余暇施設(温泉等)・駅等
 - ※元々ある路線図に手書きで施設をプロットする程度でも可
 - ペン

はじめに：各グループで発表の代表者を決める

1. 系統沿線の重要施設の洗い出し(約20分)

2. 行ける行けない表の作成(約30分)

3. 行ける行けない表を用いた対象系統の機能整理
(約20分)

4. 各班からの発表(約20分)

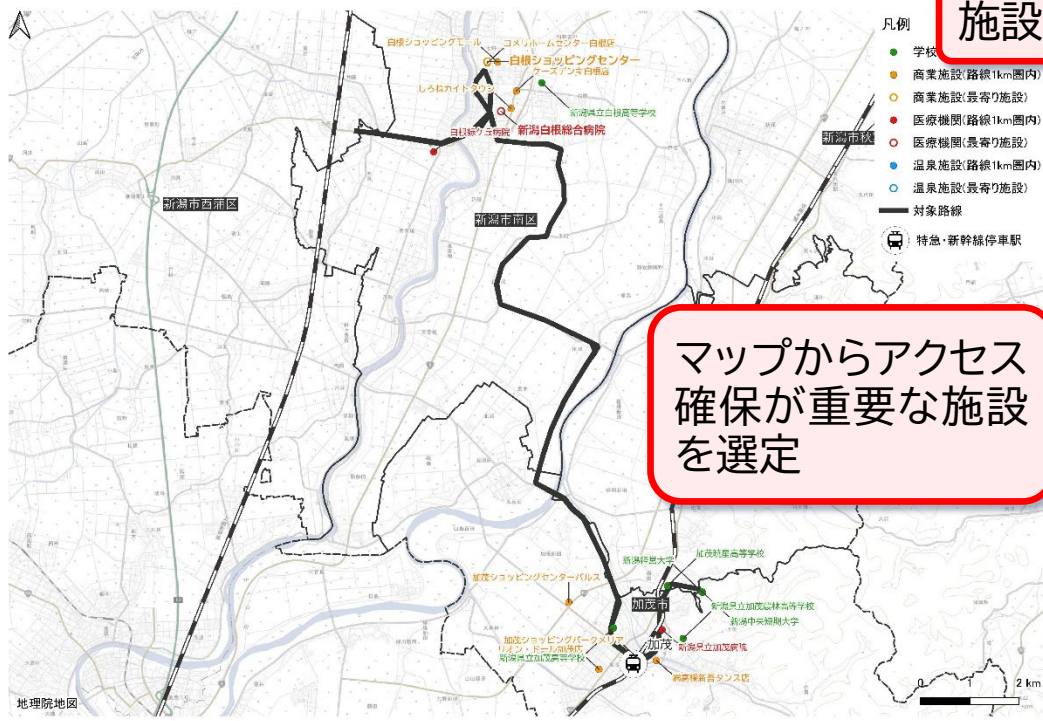
※関係者での議論の土壌整備が目的のため、時間内でそれぞれのワークが途中で終わってしまっても問題ありません。

1.系統沿線の重要施設の洗い出し【ワークシート1の使い方】

STEP① マップから重要施設を選定

●沿線自治体や運行事業者で、対象系統の系統と、周辺の施設をプロットした図から、対象系統での**アクセス確保が重要な施設(※)**を選定し、理由も併せて表に記入する

※判断が難しい場合は、利用者が多い停留所を、「重要」とする



市町村名:

施設種類	No	施設名	重要な施設だと思う理由
学校			沿線市町村に含まれる学校は全てを対象とします。 (高校に進学する生徒の選択肢を減らさないようにするため)
病院	例	〇〇病院	市内の〇〇病院にない診療科があるため
	①		
	②		
買い物	例	△△スーパー	施設が大きく、市内からも通う方が一定するいるため
	①		
	②		
駅	例	■■駅	新幹線駅であり、買い物や広域移動の際に利用されることや、路線バスのハブとなっているため
	①		
	②		
娯楽施設 (温泉等)	例	◇◇温泉	人気の施設で、市内からも通う方が一定するいるため
	①		
	②		

施設を記入

マップからアクセス確保が重要な施設を選定

1.系統沿線の重要施設の洗い出し【ワークシートⅠの使い方】

STEP② 班内での重要施設の共有

- **ファシリテーター**が沿線自治体や交通事業者の方々に重要な施設の聞き取りを行う
※ファシリテーターは「ワークシートⅠ」に聞き取り結果を記入
- **沿線自治体**や**運行事業者**で**重要と考える施設に違いがあるか**を見て、**対象系統に対する意識の差があるかを確認**する

市町村名:				市町村名:				交通事業者:			
施設種類	No	施設名	重要な施設だと思う理由	施設種類	No	施設名	重要な施設だと思う理由	施設種類	No	施設名	重要な施設だと思う理由
学校			沿線市町村に含まれる学校は全てを対象とします。 (高校に進学する生徒の選択肢を減らさないようにするため)	学校			沿線市町村に含まれる学校は全てを対象とします。 (高校に進学する生徒の選択肢を減らさないようにするため)	学校			沿線市町村に含まれる学校は全てを対象とします。 (高校に進学する生徒の選択肢を減らさないようにするため)
病院	例	〇〇病院	市内の〇〇病院にない診療科があるため	病院	例	〇〇病院	市内の〇〇病院にない診療科があるため	病院	例	〇〇病院	市内の〇〇病院にない診療科があるため
	①				①				①		
	②				②				②		
買い物	例	△△スーパー	施設が大きく、市内からも通う方が一定しているため	買い物	例	△△スーパー	施設が大きく、市内からも通う方が一定しているため	買い物	例	△△スーパー	施設が大きく、市内からも通う方が一定しているため
	①				①				①		
	②				②				②		
駅	例	■ ■ 駅	新幹線駅であり、買い物や広域移動の際に利用されることが、路線バスのハブとなっているため	駅	例	■ ■ 駅	新幹線駅であり、買い物や広域移動の際に利用されることが、路線バスのハブとなっているため	駅	例	■ ■ 駅	新幹線駅であり、買い物や広域移動の際に利用されることが、路線バスのハブとなっているため
	①				①				①		
	②				②				②		
娯楽施設(温泉等)	例	◇◇温泉	人気の施設で、市内からも通う方が一定しているため	娯楽施設(温泉等)	例	◇◇温泉	人気の施設で、市内からも通う方が一定しているため	娯楽施設(温泉等)	例	◇◇温泉	人気の施設で、市内からも通う方が一定しているため
	①				①				①		
	②				②				②		

各施設について、横並びに見て、関係者間で考え方の違いを確認する

2. 行ける行けない表の作成【ワークシートIIの使い方】

STEP① 出発地を設定する

- 沿線自治体の役所等の代表点を設定
⇒出発地は自身の市町村になるようにする
- ※沿線の近くに役所等が無い場合は、多くの住民の利用が想定される施設を設定

STEP② 対象施設の設定

- 1. で洗い出した施設を目的別に1つずつ記入する
- ※時間が限られているため、各施設は対象系統の沿線で1つ選んでください

出発地	施設	学校 (部活なし)	
		例. ○○高校	2
1 新潟市役所 ※市町村の役所等代表点を設定	行ける行けない判定 ○:往復対象系統で行ける △:片道対象系統で行ける ×:対象系統では行けない		○
	施設への着時刻 (-30分までOK)		8:15 <small>※始業時間を記入</small>
	滞在時間		始業から終業時間 始業から終業時間
	施設からの乗車時刻 (+30分までOK)		16:00 <small>※終業時間を記入</small>
	往路	施設への着時刻	8:13
		所要時間 (徒歩含む)	16分
		乗車時間	9分
	復路	施設からの乗車時刻	16:15
		所要時間 (徒歩含む)	16分
		乗車時間	9分
	往路: 代替交通手段	交通手段	○○線
		施設への着時刻	8:13
		所要時間 (徒歩含む)	16分
	復路: 代替交通手段	乗車時間	9分
		交通手段	○○線
		施設からの乗車時刻	16:20
		所要時間(徒歩含む)	16分
		乗車時間	9分

2. 行ける行けない表の作成【ワークシートIIの使い方】

STEP③ 施設への着時間の設定

- 施設の**始業時刻**を調べて、**施設への着時刻等**を設定する
- ※調べる際は、個人のPC・スマートフォン等を使用
- ※学校、病院以外はワークシート内で設定済み
- ※調べても分からない場合は想定の間を記入

STEP④ 滞在時間、発時間の設定

- 施設での**滞在時間**を設定し、**施設からの乗車時刻**を設定する
- ※学校、病院以外はワークシート内で設定済み

出発地	施設	学校 (部活なし)	
		例. ○○高校	
新潟市役所 ※市町村の役所等代表点を設定	行ける行けない判定 ○:往復対象系統で行ける △:片道対象系統で行ける ×:対象系統では行けない		○
	施設への着時刻 (-30分までOK)		8:15
	滞在時間		始業から終業時間
	施設からの乗車時刻 (+30分までOK)		16:00
	往路	施設への着時刻	8:13
		所要時間 (徒歩含む)	16分
		乗車時間	9分
	復路	施設からの乗車時刻	16:15
		所要時間 (徒歩含む)	16分
		乗車時間	9分
	往路: 代替交通手段	交通手段	○○線
		施設への着時刻	8:13
		所要時間 (徒歩含む)	16分
	復路: 代替交通手段	交通手段	○○線
		施設からの乗車時刻	16:20
		所要時間(徒歩含む)	16分
		乗車時間	9分

STEP⑤ 対象系統を使った経路検索

- 経路検索サービスや時刻表を用いて、着時刻を満たすような便があるかを確認
- 復路も同様に検索

出発地と目的地、到着時刻等を指定して検索をする

新潟市役所ふるまち庁舎、〒951-8063 新潟市

新潟県立新潟高等学校、〒951-8127 新潟市

到着時刻 8:15 10月21日(火)

7:57 - 8:13 16分

古町から 8:01 260円 徒歩 7分

※経路検索サービスが使えない場合は時刻表で確認する

出発地	施設	学校 (部活なし)	
		例. ○○高校	
新潟市役所	行ける行けない判定 ○:往復対象系統で行ける △:片道対象系統で行ける ×:対象系統では行けない	○	
	施設への着時刻 (-30分までOK)	8:15	※始業時間を記入
	滞在時間	始業から終業時間	始業から終業時間
	施設からの乗車時刻 (+30分)		※終業時間を記入
	往路	施設への着時刻	8:13
		所要時間 (徒歩含む)	16分
		乗車時間	9分
	復路	施設からの乗車時刻	16:15
		所要時間 (徒歩含む)	16分
		乗車時間	9分
	往路: 代替交通手段	交通手段	○○線
		施設への着時刻	8:13
		所要時間 (徒歩含む)	16分
	復路: 代替交通手段	交通手段	○○線
		施設からの乗車時刻	16:20
		所要時間 (徒歩含む)	16分
		乗車時間	9分

対象系統の情報を記入

5

※市町村の役所等代表点を設定

STEP⑥ 代替交通手段の検索

- 対象系統以外に使える代替交通手段がある場合は記入
- 復路も同様に検索

出発地と目的地、到着時刻等を指定して検索をする

新潟市役所ふるまち庁舎、〒951-8063 新潟市

新潟県立新潟高等学校、〒951-8127 新潟市

到着時刻 8:15 10月21日(火)

7:57 - 8:13 16分

古町から 8:01 260円 徒歩 7分

7:56 - 8:12 16分

河渡線

※経路検索サービスが使えない場合は時刻表で確認する

出発地	施設	学校 (部活なし)	
		例. ○○高校	
新潟市役所	行ける行けない判定 ○:往復対象系統で行ける △:片道対象系統で行ける ×:対象系統では行けない	○	
	施設への着時刻 (-30分までOK)	8:15	※始業時間を記入
	滞在時間	始業から終業時間	始業から終業時間
	施設からの乗車時刻 (+30分までOK)	16:00	※終業時間を記入
	往路	施設への着時刻	8:13
		所要時間 (徒歩含む)	16分
		乗車時間	9分
	復路	施設からの乗車時刻	16:15
		所要時間	16分
		乗車時間	9分
※市町村の役所等代表点を設定	往路: 代替交通手段	交通手段	○○線
		施設への着時刻	8:13
		所要時間 (徒歩含む)	16分
		乗車時間	9分
	復路: 代替交通手段	交通手段	○○線
		施設からの乗車時刻	16:20
		所要時間 (徒歩含む)	16分
		乗車時間	9分

代替交通手段の情報を記入

6

STEP⑦ 行ける行けないの判定

● 検索結果をもとに、対象系統を使って目的地に行くことができるかを以下の判定基準で判定し、結果を記入する

【判定基準】

○：往復対象系統で行ける

△：片道対象系統で行ける

×：対象系統では行けない

出発地	施設	学校 (部活なし)	
		例. ○○高校	
新潟市役所 ※市町村の役所等代表点を設定	行ける行けない判定 ○：往復対象系統で行ける △：片道対象系統で行ける ×：対象系統では行けない	○	
	施設への着時刻 (－30分までOK)	8:15	※始業時間を記入
	滞在時間	始業から終業時間	始業から終業時間
	施設からの乗車時刻 (＋30分までOK)	16:00	※終業時間を記入
	往路	施設への着時刻	8:13
		所要時間 (徒歩含む)	16分
		乗車時間	9分
	復路	施設からの乗車時刻	16:15
		所要時間 (徒歩含む)	16分
		乗車時間	9分
	往路： 代替交通手段	交通手段	○○線
		施設への着時刻	8:13
		所要時間 (徒歩含む)	16分
		乗車時間	9分
	復路： 代替交通手段	交通手段	○○線
		施設からの乗車時刻	16:20
		所要時間(徒歩含む)	16分
		乗車時間	9分

...

STEP①

重要な施設の整理

●沿線自治体や運行事業者のいずれかが、重要だと考える施設であればファシリテーターがチェックを入れる

目的地	重要	アクセス確保できている	関係者での認識の違いがある	関係者が考える各施設へのアクセス確保機能
学校(部活なし)	☑	○	☐	・A市、B市両市にとって、〇〇高校へのアクセス確保は重要であることが分かった。 ・対象システムにより、アクセス確保もできていた。
学校(部活あり)	☑	△	☐	・A市、B市両市にとって、〇〇高校の部活後のアクセスを確保したいところだが、B市に帰るための便が不足していた
病院	☑	×	☑	・A市は△△病院、B市は□□病院へのアクセス確保が重要であることが分かった。 ・しかし、対象システムによるアクセス確保ができていなかった。
買い物	☐	×	☐	A市、B市両市にとって重要な買い物施設は無かった
駅	☑	○	☐	・A市、B市両市にとって、■●駅へのアクセス確保は重要 であることが分かった。 ・新幹線に対して、十分に乗り継げる時間が確保できている
娯楽施設(温泉等)	☑	△	☑	・A市は●●温泉へのアクセス確保が重要だと考えているが、日中の時刻が合わずしており、適切な滞在時間が確保されていなかった。

まとめ(今後の系統の方向性)

- ・現在の通学、病院、駅へのアクセス等を今後も維持していく。
- ・B市から通学する学生の部活動後の便が確保できるように検討を進めていきたい。
- ・●●温泉へのアクセスが可能となるように、日中の便のダイヤの変更についても検討を進めたい。

STEP②

行ける行けない表による判定結果の整理

● 行ける行けない表による判定結果を沿線自治体や運行事業者による整理結果を踏まえ、以下の評価方法に基づき、ファシリテーターが記号を入れる

目的地	重要	アクセス確保できている	関係者での認識の違いがある	関係者が考える各施設へのアクセス確保機能
学校(部活なし)	☑	○		であることが分
学校(部活あり)	☑	△		保したいところ
病院	☑	×	☑	あることが分
買い物	☐	×	☐	・しかし、対象システムによるアクセス確保ができていなかった。
駅	☑	○	☐	・A市、B市両市にとって、■駅へのアクセス確保は重要 であることが分かった。 ・新幹線に対して、十分に乗り継げる時間が確保できている
娯楽施設(温泉等)	☑	△	☑	・A市は●●温泉へのアクセス確保が重要だと考えているが、日中の時刻が合わずしており、適切な滞在時間が確保されていなかった。

2

【評価方法】
○:行ける行けない判定が全て”○”
△:いずれか一つでも”△”or”×”
×:全て”×”

まとめ(今後の系統の方向性)

- ・現在の通学、病院、駅へのアクセス等を今後も維持していく。
- ・B市から通学する学生の部活動後の便が確保できるように検討を進めていきたい。
- ・●●温泉へのアクセスが可能となるように、日中の便のダイヤの変更についても検討を進めたい。

STEP③

重要施設における関係者間の認識の違いを整理

● 1. の作業より目的地への**アクセス確保の重要性**に**沿線自治体**や**運行事業者**間で**認識の違い**があれば**ファシリテーター**が**チェック**を入れる

目的地	重要	関係者での認識の違いがある		関係者が考える各施設へのアクセス確保機能
		アクセス確保できている	関係者での認識の違いがある	
学校(部活なし)	☑	○	☐	・A市は当該目的地のアクセス確保を重要と考えているが、B市は重要でないと考えている場合等にチェック
学校(部活あり)	☑	△	☐	
病院	☑	×	☑	・A市は当該目的地のアクセス確保を重要と考えているが、B市は重要でないと考えている場合等にチェック
買い物	☐	×	☐	A市、B市両市にとって重要な買い物施設は無かった
駅	☑	○	☐	・A市、B市両市にとって、■駅へのアクセス確保は重要であることが分かった。 ・新幹線に対して、十分に乗り継げる時間が確保できている
娯楽施設(温泉等)	☑	△	☑	・A市は●●温泉へのアクセス確保が重要だと考えているが、日中の時刻が合わずしており、適切な滞在時間が確保されていなかった。

まとめ(今後の系統の方向性)

- ・現在の通学、病院、駅へのアクセス等を今後も維持していく。
- ・B市から通学する学生の部活動後の便が確保できるように検討を進めていきたい。
- ・●●温泉へのアクセスが可能となるように、日中の便のダイヤの変更についても検討を進めたい。

STEP④

チェック結果より意見をまとめる

● **ファシリテーター**が
チェック結果やこれ
までの関係者の意見
を参考に、**目的地の
アクセス確保の重要
性や、アクセス確保
の有無**について記載
し、対象システムの機能
や関係者の考え方等
をまとめる

目的地	重要	関係者が考える各施設へのアクセス確保機能	
		アクセス確保 できている	関係者での認識 の違いがある
学校(部活なし)	☑	○	☐
学校(部活あり)	☑	△	☐
病院	☑	×	☑
買い物	☐	×	☐
駅	☑	○	☐
娯楽施設(温泉等)	☑	△	☑

4

まとめ(今後の系統の方向性)

- ・現在の通学、病院、駅へのアクセス等を今後も維持していく。
- ・B市から通学する学生の部活動後の便が確保できるように検討を進めていきたい。
- ・●●温泉へのアクセスが可能となるように、日中の便のダイヤの変更についても検討を進めたい。

STEP⑤

今後の系統の方向性についてまとめる

ファシリテーターがアクセス機能の過不足や、アクセス機能維持の必要性等を踏まえた、今後の方向性を関係者の意見を踏まえてまとめる

目的地	重要	関係者が考える各施設へのアクセス確保機能		
		アクセス確保できている	関係者での認識の違いがある	
学校(部活なし)	☑	○	☐	・A市、B市両市にとって、〇〇高校へのアクセス確保は重要であることが分かった。 ・対象系統により、アクセス確保もできていた。
学校(部活あり)	☑	△	☐	・A市、B市両市にとって、〇〇高校の部活後のアクセスを確保したいところだが、B市に帰るための便が不足していた
病院	☑	×	☑	・A市は△△病院、B市は□□病院へのアクセス確保が重要であることが分かった。 ・しかし、対象系統によるアクセス確保ができていなかった。
買い物	☐	×	☐	A市、B市両市にとって重要な買い物施設は無かった
駅	☑	○	☐	・A市、B市両市にとって、■駅へのアクセス確保は重要 であることが分かった。 ・新幹線に対して、十分に乗り継げる時間が確保できている
娯楽施設(温泉等)	☑	△	☑	・A市は●●温泉へのアクセス確保が重要だと考えているが、日中の時刻が合わずしており、適切な滞在時間が確保されていなかった。

5

まとめ(今後の系統の方向性)

- ・現在の通学、病院、駅へのアクセス等を今後も維持していく。
- ・B市から通学する学生の部活動後の便が確保できるように検討を進めていきたい。
- ・●●温泉へのアクセスが可能となるように、日中の便のダイヤの変更についても検討を進めたい。

- 最初に選定した発表者から「3. 行ける行けない表を用いた対象系統の機能整理」で取りまとめた内容を発表してもらう
- ワークシートⅢを用いて、対象系統がどのような機能を持つのかと、今後の対象系統のあり方について簡単に発表をしてもらう

